

第136期(第2四半期)

株主通信

2015年4月1日～2015年9月30日



CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 2 業績の概況
- 3 Kyodoトピックス
- 5 営業の概況
- 9 第2四半期 連結財務諸表の概要
- 10 業績の推移(連結)
- 11 株式の状況
- 13 共同印刷グループネットワーク

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当第2四半期(累計)の事業概況をご報告申し上げます。

国内経済は、緩やかな回復基調が続いていますが、中国経済の情勢や株式相場の停滞等を背景に、景気の下振れリスクが懸念されています。印刷業界においては、紙媒体の需要減少や原材料価格の上昇などにより厳しい経営環境が続きました。こうしたなか、共同印刷グループは、医薬品および電子部品分野向けを中心とした高機能製品による新たな需要の創出や、お客さまの課題解決につながるソリューションサービスの展開に努め、事業領域の拡大を図ってまいりました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高・利益とも前年同期を下回る結果となりました。

今後も、電子メディアの普及に伴い、既存の印刷市場の縮小傾向は続くものと思われます。一方で、情報系事業においては、事業の範囲が印刷だけでなく周辺の領域へと拡大しており、ビジネスチャンスが広がっています。当グループは、こうした市場ニーズの変化に柔軟に対応し、これまでに培った強み、ノウハウを活かしてお客さまの課題解決を支援することで、受注拡大を図ってまいります。また、本年10月にベトナム現地法人においてラミネートチューブの生産を開始いたしました。これを機に、国内だけでなく海外でのラミネートチューブの需要開拓にも努め、グループ一丸となって生活・産業資材系事業の拡大に注力してまいります。また、各事業における収益管理の徹底に加え、生産体制の一段の効率化を進め、企業体質の強化に努めてまいります。

当グループは引き続き、付加価値の高い製品やサービスを幅広い業界のお客さまに提供することで、成長性を高め、企業価値の向上をめざしていく所存です。

株主の皆様におかれましては、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 藤森康彰

業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の回復を背景に雇用や所得環境の改善がみられた一方、中国経済の減速による輸出の伸び悩みや個人消費の回復の遅れなど、不透明な状況もありました。

印刷業界におきましては、紙媒体の需要減少や競争激化に伴う受注価格の下落、円安による原材料価格の上昇など、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、共同印刷グループは中期経営方針「強みを活かし事業領域を拡大して利益を創出する」に基づき、グループ一丸となって業績の向上に取り組みました。出版商印部門およびビジネスメディア部門からなる情報系事業では、トータルソリューションの推進によって、販促支援サービスや業務支援サービスの受注拡大を図りました。生活・産業資材系事業では、高機能製品の機能と用途の拡大を図り新たな需要の創出に努めるとともに、ラミネートチューブの受注拡大に向けた国内外での取り組みを進め、7月にはベトナムに設立したラミネートチューブの製造販売を行う子会社の新工場が竣工しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は435億5千3百万円(前年同期比3.5%減)、営業損失は1百万円(前年同期は営業利益6億3千6百万円)、経常利益は5億2千2百万円(前年同期比50.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5千7百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

単位:百万円

連結	前第2四半期累計 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期累計 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	増減率
売上高	45,124	43,553	△3.5%
営業利益又は営業損失(△)	636	△1	—
経常利益	1,052	522	△50.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	568	457	△19.5%
一株当たりの中間配当金	4円	4円	—

※年間では8円の配当を予定しています。

高機能フィルム事業拡大への取り組み ～技術展「インターフェックスジャパン」出展製品紹介～

2015年7月に東京ビッグサイトで開催された「第28回インターフェックス ジャパン - 医薬品・化粧品・洗剤 研究開発・製造技術国際展 -」は、医薬・化粧品に関する世界有数の技術展です。

共同印刷は注力する医薬・産業資材分野の製品を本展示会に出品し、好評を博しました。そこで、展示品から機能性フィルムの新製品、トピックをご紹介します。



国内外のお客さまでにぎわった当社ブース

機能性フィルム汎用シリーズ第一弾

「モイストキャッチ®CZ」

2004年に開発した吸湿・吸着機能材料「モイストキャッチ®」は、医薬品を中心に順調に採用が進んでいます。また、モイストキャッチ®の開発で得た技術を応用して、香りや薬効を逃さない「非吸着性フィルム」やアウトガスなどを吸着する「オージーキャッチ®」など、さまざまな特性を持つ高機能フィルムも誕生しています。

2015年8月、販路をさらに広げることで一層の市場拡大を図るため、高機能フィルムの汎用シーラントフィルムを、フィルムコンバーターなどに向けて販売することを決定しまし



モイストキャッチ®CZ

た。その第一弾が「モイストキャッチ®CZ」です。

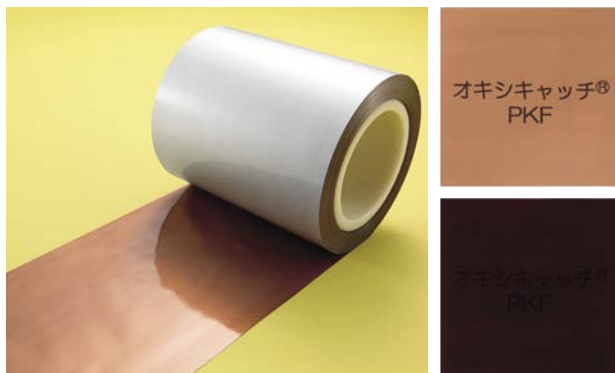
モイストキャッチ®CZは吸湿機能の高さが特長で、通常のシーラントフィルムと同様にラミネートやヒートシールなどの加工が可能です。乾燥剤を用いることなくパッケージ内を低湿度に保つため、薬剤の加水分解などの劣化を防ぎ、薬剤の安定性向上や製品寿命の延長に貢献します。

酸素吸収フィルムの新タイプ

「オキシキャッチ®PKF」

「オキシキャッチ®PKF」は、2010年に開発した酸素吸収フィルム「オキシキャッチ®(オキシキャッチ®ICA)」の新タイプです。オキシキャッチ®ICAが無機系の脱酸素剤を樹脂に含有させているのに対し、オキシキャッチ®PKFは、有機系の脱酸素剤を含有させました。これにより、用途や製造工程に合わせた材料選択が可能になりました。

オキシキャッチ®PKFは、加熱処理やγ線処理を施すことで酸



酸素吸収前(上)と吸収後(下)。吸収に伴って遮光性が発現し、色相が変化します

素の吸収を促進する機能を有しています。そのため、充填後に熱処理を行う包材などに適しています。また、非金属である有機物※を用いることで、包材の軽量化も実現しました。焼却残渣(残留物)も減少するため、輸送コストの削減や生産の効率化、廃棄物の削減にも効果的です。

※「有機物」は燃やすと二酸化炭素を発生したり炭になったりするもの(炭素化合物)で、「無機物」は「有機物」ではないもの(金属、石、ガラスなど)です。

モイストキャッチ®とオキシキャッチ®が宇宙へ!

モイストキャッチ®とオキシキャッチ®ICAが、国際宇宙ステーション(ISS)の「きぼう」日本実験棟の船外実験プラットフォームで行われている材料曝露実験※の一つである、東京大学「炭素質ナノ粒子の宇宙風化と星間有機物進化の実証研究」に用いる試料の梱包・保管袋に採用されました。

ISSでの長期曝露実験では、地上から試料を打ち上げてから実験を行うまでの期間に対応するため、最長で数カ月、湿気や酸素が試料に与える影響を防ぐことが求められます。そこで、モイストキャッチ®とオキシキャッチ®ICAをカスタマイズし、内容物の保護性に優れた、利便性の高い梱包袋を作成しました。この梱包袋に封入された試料は、日本時間4月17日にISSへ到

着しました。曝露実験は5月26日に始まり、約1年の曝露を経た後、再び梱包袋に封入されて地球へ戻る予定です。

※実験対象の材料を、高真空で熱変化が大きく宇宙放射線が降り注ぐ宇宙環境に長期間さらして(曝露)受ける影響を調査し、より高機能・高性能な材料や耐宇宙環境材料の開発に役立てるために行われる実験。

企業広告

「Creating the KYODO Value!」展開中

独自の技術と発想力で社会と共有できる価値(KYODO Value)を創造し、事業を通じてもっと社会に貢献したいという願いを表現したシリーズ広告です。現在、モイストキャッチ®(写真)など全フラインアップで展開しています。



薬に、飲みやすさと安定性、そして安心を。

「この薬、ちょっと飲みにくい…」患者様からのそんな声。薬剤が融するアウトガスが原因のニオイであることが多いようです。また、さまざまなアウトガスは、薬剤の安定性に影響を及ぼすこともあります。解決の近道は、薬剤のパッケージにガスの吸着剤を併用すること。しかし、この場合「吸着剤の脱吸」という問題が生じます。

そこで私たちは考えました。「当社が多くの手掛けている包装材で、ガスを吸着できない」と。こうして生まれたのが、アウトガス除去機能付きフィルム「モイストキャッチ」です。

私たちが目指しているのは、独自の技術と発想力で、社会と共有できる価値を創造すること。事業を通じて、もっと社会に貢献したい。それが私たち、共同印刷の願いです。



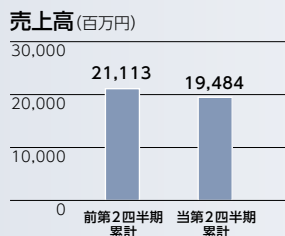
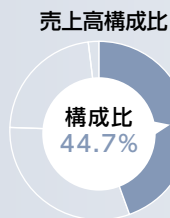
モイストキャッチ
高気圧成膜技術で超微細な多孔質構造を実現し、
2.5μm以下の孔径を実現。
<https://www.kyodointronic.co.jp/>
共同印刷株式会社

社会と共に — KYODOを構築中
共同印刷株式会社
〒112-8501 東京都文京区小石川 4-1-10

営業の概況

出版商印部門

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子出版など



連結売上高 194億8千4百万円
(前年同期比7.7%減)

営業損失 △4億8千3百万円
(前年同期は営業利益
2億5千9百万円)

出版印刷では、マンガを中心とした受注拡大をめざし、コンテンツのデジタル化や電子書店「自己ガク®」を活用したサービスの充実に取り組みました。その結果、コミックスは増加したものの単行本などの受注減によって書籍が減少し、定期刊行物も減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

一般商業印刷では、サービスメニューの開発とソリューション提案の推進によるトータル受注の拡大に努めました。その結果、情報誌や販促DMは増加しましたが、カタログやチラシなどが減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を下回りました。

出版印刷においては、マンガを中心に電子書籍市場が拡大するなかで、コンテンツを紙とデジタルの両方へ展開するサービスの強化を図り、多様化する出版市場において、紙とデジタル両面からの受注拡大を図ってまいります。また、電子書店「自己ガク®」を活用した関連事業の充実を図り、教育事業分野など新しい分野への提案に努めてまいります。

一般商業印刷においては、引き続きトータルソリューション提

案の拡大に努めてまいります。ITを活用したサービスメニューを充実させるとともに、マーケティングや顧客分析等を組みこんだ販促プランの立案、キャンペーン等の事務局業務や在庫管理業務など、各種メニューを複合的に組み合わせた提案を行い、受注拡大をめざします。



出版印刷



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

TOPICS スマートフォンやタブレット端末で“正しい漢字”を手軽に学習 漢検公式アプリ「漢検ラーニング」の販売開始

「漢検ラーニング」は、日本漢字能力検定(漢検)の公式アプリケーションです。共同印刷が漢検協会の新審査基準に対応かつ実際に出題された検定問題の提供を受けてシステムを開発し、当グループの共同印刷西日本株式会社が流通・販売体制を構築しました。

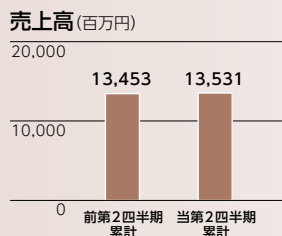
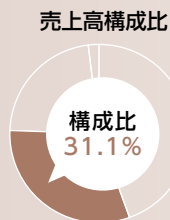
漢検7級～1級に対応しており、「漢検3級の四字熟語」など欲しいカテゴリの問題のみ購入することも可能です。電子書籍形式で好きな箇所から学習を開始・終了でき、個人のペースや習熟度、強化ポイントに合わせて効率よく学習できるため、漢検対策に最適です。



画面に文字を書く「手書き入力」機能などを搭載

ビジネスメディア部門

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO業務
- 通帳・証券類
- 各種カードなど



連結売上高 135億3千1百万円
(前年同期比0.6%増)

営業利益 5億1千9百万円
(前年同期比44.2%増)

ビジネスメディア部門では、データプリント事業とBPOの受注拡大をめざし、川島ソリューションセンターの機能を生かした提案を行いました。

ビジネスフォームは減少したものの、インバウンド需要などにより乗車券などの証券類が増加し、IC乗車券をはじめとするICカードも増加しました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を上回りました。

当部門では、BPOの受注拡大をめざし、提案力の強化と受託体制の整備に取り組んでいます。川島ソリューションセンターにおけるデータプリント事業とこれまでに培ったノウハウを生かし、お客さまの課題解決に役立つサービスを提

供してまいります。特に来年1月より正式にスタートするマイナンバー制度では、自治体や金融機関を中心に関連するBPO需要が見込まれており、受注拡大に向けた取り組みを強化してまいりま



ビジネスフォームなど

す。乗車券や抽選券などの証券類や、IC乗車券を中心とするICカードでは、新製品の開発と新市場の開拓に取り組むとともに、生産体制の効率化推進によって収益力向上を図ってまいります。



通帳・証券類

TOPICS 「EAP※機関向けストレスチェックBPOサービス」を開始

2015年12月以降、従業員数50人以上の事業場を持つ事業者には「ストレスチェック」の実施が義務付けられます。これに先立ち、実施に関する業務をワンストップで支援する「EAP機関向けストレスチェックBPOサービス」の提供を4月に開始しました。

本サービスでは、質問・回答用紙の作成から実施企業への発送、回答用紙の回収・データ化、結果票の作成・発送まで、ストレスチェックに関わる大量一括処理はもちろん、記入ミス防止などもサポートします。ストレスチェック業務を効率的かつ安全に実施できると好評です。

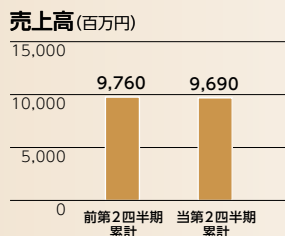
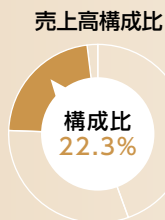
※Employee Assistance Program：従業員支援プログラム



BPO作業を行う川島ソリューションセンター

生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能製品など



連結売上高 96億9千万円
(前年同期比0.7%減)

営業利益 5千5百万円
(前年同期比65.0%減)

生活・産業資材部門では、化粧品向けラミネートチューブの拡販をめざし、フルプリント仕様の提案に努めるとともに、7月に竣工したベトナムの新工場の立ち上げに注力しました。また当社開発製品である湯切りフタ材「パーシャルオープン」や各種業務用包材の受注拡大に取り組みました。高機能製品については、医薬品や電子部品分野への提案を進めるとともに、新規顧客や海外市場の開拓に取り組みました。

軟包装やチューブは新製品の受注などによって増加しましたが、紙器や産業資材、建材製品などが減少しました。

以上の結果、部門全体での売上高は前年同期を下回りました。

当部門では、チューブやラップカー

トンなど当社が強みを持つ製品の市場シェア拡大と、高機能製品の拡販による産業資材事業の拡大に取り組んでいます。チューブでは、歯磨き用ラミネートチューブのシェア拡大に努めるとともに、化粧品用チューブの受注拡大をめざして国内外での提案を進めています。ASEANを中心とする海外市場向け化粧品用チューブの製造・販売を行うベトナムの子会社では、7月に竣工した新工場が10月に稼働開始し、現在本生産に向

けた生産体制の構築に取り組んでいます。また「モイストキャッチ®」「オキシキャッチ®」をはじめとする高機能製品については主に医薬品包材としての提案を進めており、今後は中国をはじめとする海外市場での拡販にも注力してまいります。



軟包装



チューブ

TOPICS ベトナム現地法人KYODO PRINTING (VIETNAM) CO. LTD.の工場竣工

2015年7月、当グループであるKYODO PRINTING (VIETNAM) CO. LTD.の工場(以下、ベトナム工場)が完成し、10月に稼働を開始しました。

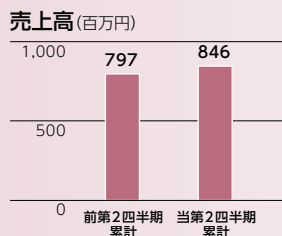
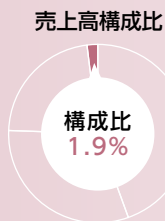
ベトナム工場では、主に化粧品向けラミネートチューブの製造を行います。そのため、クリーンルームをはじめとする高水準の衛生環境はもちろん、製造ロットごとにトレーサビリティを管理して、万が一のトラブルにも早急に対処できる体制を整えました。今後は、東アジア地域の営業拠点・共印商貿(上海)有限公司と連携しながら、ネットワークを拡大していきます。



日本同様の衛生・品質管理を行います

その他

- 不動産管理
- 物流業務など



連結売上高 **8億4千6百万円**
(前年同期比6.2%増)

営業利益 **1億2千1百万円**
(前年同期比45.3%増)

連結子会社における売上高は、物流業務などの増加により前年同期を上回りました。



共同物流株式会社

TOPICS 当社が製造に携わった製品が、各コンクールで賞を受けました

業界最大、プロモーション・マーケティングの最前線が一堂に会する総合展
第45回日本プロモーション・マーケティング協会展(2015・45th JPM PROMOTIONAL SOLUTION EXHIBIT)

●化粧品部門 銀賞

- 株式会社コーセー「15雪肌精30thフロア販売台」
- 株式会社コーセー「14コスメデコルテ春専門店演出(MJポ)」
- 株式会社コーセー「14プレディア秋後ディープシースパ床置販売台」



コマーシャル・パッケージの優秀性を競う商品包装展
第54回 2015JPC (Japan Packaging Competition)

●日本印刷産業連合会会長賞

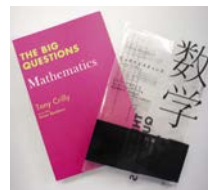
- エースコック株式会社
「EDGE 鬼マヨ焼そば」
- 「EDGE 鬼辛焼そば」



国内で刊行された本から、印刷・製本・加工技術に優れた製品を表彰
第49回 造本装幀コンクール

●日本印刷産業連合会会長賞

- 株式会社ディスカヴァー・トゥエンティワン
「ビッグクエスト数学」
- 株式会社学研教育出版
「パーソナル英和・和英辞典
ダース・ヴェイダー版」



第2四半期 連結財務諸表の概要

前期……………2014年4月1日から2015年3月31日まで
 前第2四半期 ……2014年4月1日から2014年9月30日まで
 当第2四半期 ……2015年4月1日から2015年9月30日まで

単位：百万円 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

●連結貸借対照表

	前期末	当第2四半期末
資産の部		
流動資産	48,299	46,007
固定資産	55,810	57,141
有形固定資産	36,780	38,144
無形固定資産	1,364	1,338
投資その他の資産	17,665	17,658
資産合計	104,110	103,148
負債の部		
流動負債	27,312	26,401
固定負債	19,786	19,411
負債合計	47,098	45,812
純資産の部		
株主資本	49,669	49,776
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	43,963	44,070
自己株式	△ 547	△ 547
その他の包括利益累計額	7,335	7,552
その他有価証券評価差額金	7,021	7,163
為替換算調整勘定	188	178
退職給付に係る調整累計額	126	210
非支配株主持分	7	8
純資産合計	57,012	57,336
負債純資産合計	104,110	103,148

●連結包括利益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
四半期純利益	570	458
その他の包括利益	561	216
その他有価証券評価差額金	468	140
為替換算調整勘定	△ 2	△ 9
退職給付に係る調整額	94	84
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
四半期包括利益	1,131	675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,130	674
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

●連結損益計算書

	前第2四半期	当第2四半期
売上高	45,124	43,553
売上原価	37,801	36,779
売上総利益	7,322	6,773
販売費及び一般管理費	6,686	6,775
営業利益又は営業損失(△)	636	△ 1
営業外収益	541	633
営業外費用	125	108
経常利益	1,052	522
特別利益	4	369
特別損失	101	159
税金等調整前四半期純利益	954	732
法人税等	384	273
四半期純利益	570	458
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	568	457

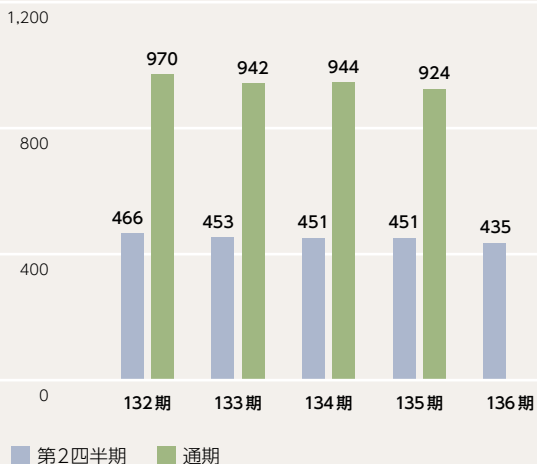
●連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期	当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,515	906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,391	△ 1,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,766	△ 1,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 11
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,642	△ 2,449
現金及び現金同等物の期首残高	13,271	15,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,628	12,919

業績の推移 (連結)

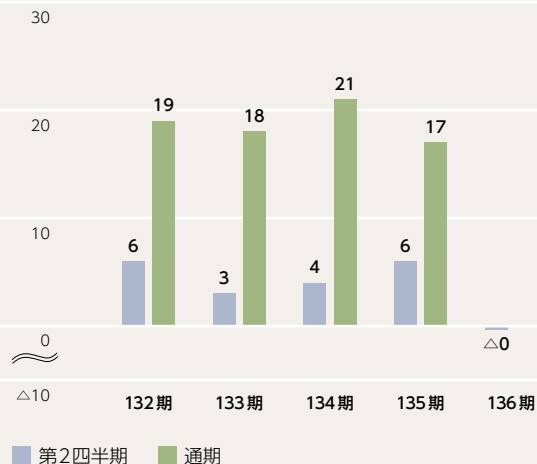
売上高

(億円)



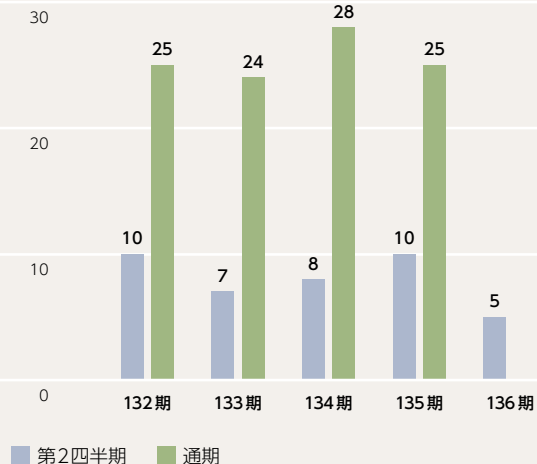
営業利益

(億円)



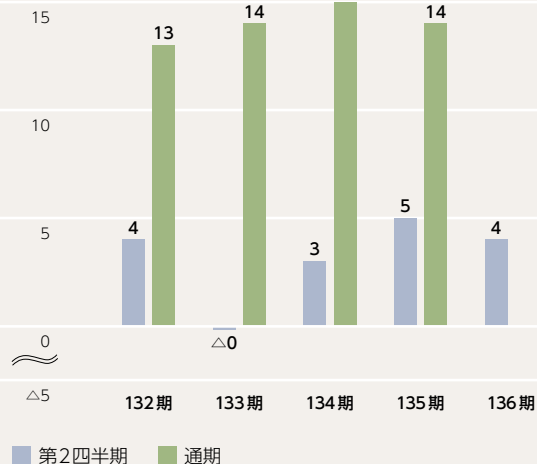
経常利益

(億円)



親会社株主に帰属する 当期純利益

(億円)



株式の状況 (2015年9月30日現在)

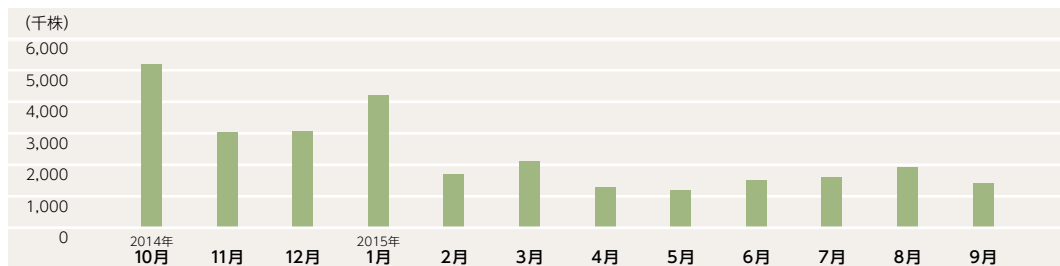
● 株価および売買高の推移 (東京証券取引所)

株価の推移

(終値ベースの高低)



売買高の推移



● 大株主の状況

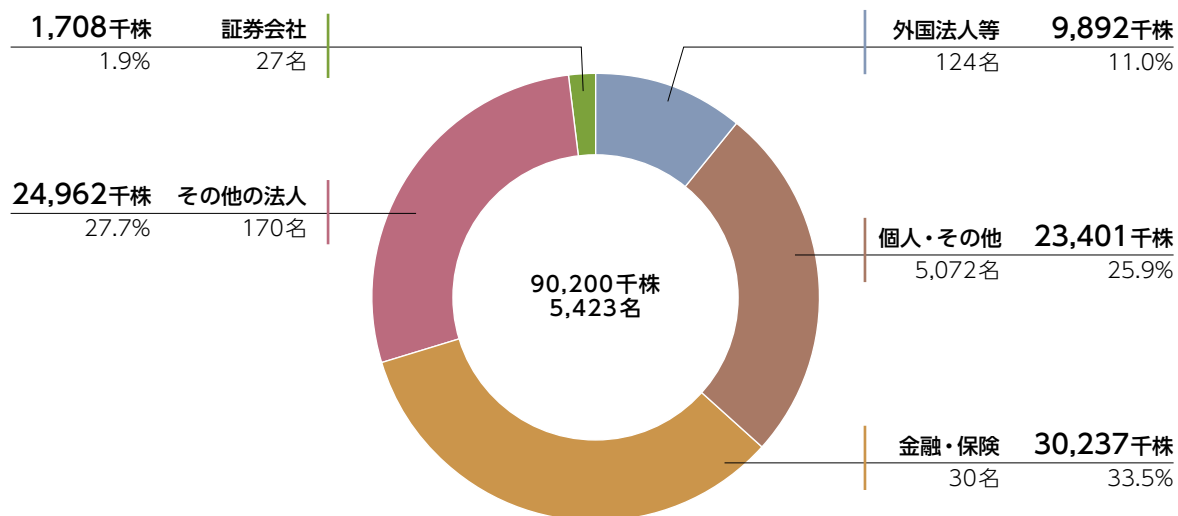
氏名または名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	12,386	13.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)	8,541	9.47
東京インキ株式会社	5,830	6.46
株式会社みずほ銀行	2,831	3.14
東洋インキSCホールディングス株式会社	2,169	2.40
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	2,085	2.31
朝日生命保険相互会社	2,000	2.22
共同印刷従業員持株会	1,866	2.07
三井住友信託銀行株式会社	1,482	1.64
モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社	1,359	1.51

※当社は自己株式2,370,317株を保有しておりますが、上記大株主から除外しています。

●株式の状況

発行可能株式総数	360,800,000株
発行済株式総数	90,200,000株
単元株式数	1,000株
株主数	5,423名

●所有者別株式分布状況(株式数比率)



共同印刷グループネットワーク

会社商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業年月日	1897(明治30)年 6月25日
設立年月日	1925(大正14)年12月26日
資本金	45億1千万円
本社	〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12 Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)

●役員紹介

取締役

代表取締役会長	稲木 歳明
代表取締役社長	藤森 康彰
専務取締役	三吉 幹夫
常務取締役	清水 市司
常務取締役	大澤 春雄
常務取締役	人見 実
常務取締役	井戸 一喜
常務取締役	大久保隆司
取締役	齋藤 文孝
取締役	今村 敏夫
取締役	渡邊 秀典
取締役	里村 憲治
取締役	汲井 隆
社外取締役	高岡 美佳

監査役

常勤監査役	小笠原 誠
常勤監査役	宮城 忠雄
社外監査役	公文 敬
社外監査役	徳岡 卓樹 弁護士

●製造工場およびグループ会社

出版商印部門

小石川工場
五霞工場
越谷工場 (共同オフセット株式会社)
苫小牧工場 (株式会社コスモグラフィック)
小石川プロセス株式会社
共同印刷製本株式会社
デジタルカタバルト株式会社

ビジネスメディア部門

鶴ヶ島工場
川島ソリューションセンター
京都工場 (共同印刷西日本株式会社)

生活・産業資材部門

守谷第一工場 / 守谷第二工場
小田原工場
相模原工場
和歌山工場
磯原工場 (常磐共同印刷株式会社)
共印商貿 (上海) 有限公司
KYODO PRINTING (VIETNAM) CO.LTD.

その他

共同物流株式会社
共同総業株式会社
共同印刷ビジネスソリューションズ株式会社
(関連会社)
共同製本株式会社

共同印刷のオリジナル技術「彩美版®」

クロード・モネ「睡蓮、水のエチュード―雲」 株主さまだけに特別価格でご案内します

《印象派》が誕生してから140年余り。パリに発生した革新的な芸術運動《印象派》は、モネの作品「印象、日の出」から命名されました。この度、その印象派を代表する画家クロード・モネ(1840~1926)の記念碑的作品、オランジュリー美術館所蔵の「睡蓮」連作大装飾画より、水面に浮かぶ睡蓮と水に映る朝焼けの雲とが妙なるハーモニーを醸し出す、モネならではのニュアンスに富んだ彩りの世界を彩美版®で再現しました。本作品は美術館第一室に飾られた「雲」の全画面より、作品のハイライト部をフランス国立美術館連合・グランパレ(RMN-GP)の画像協力を得て制作したものです。「株主通信」をご覧の株主さまだけに、期間限定の特別価格でご案内します。

受付期間:

2015年12月7日から
2016年2月29日まで
期間中本社1Fロビー
に作品を展示します。

彩美版® クロード・モネ「睡蓮、水のエチュード―雲」 限定200部制作

【仕様体裁】

原画 オランジュリー美術館
(Musée de l'Orangerie)所蔵

監修 千足 伸行
(成城大学名誉教授/広島県立美術館長)

技法 彩美版®,シルクスクリーン手刷り
※「彩美版®」は、ハンドメイドのよさと最新の画像処理技術を融合させた最高レベルの版画(複製画)技術です。

用紙 キャンバス

額縁 木製デコレーション金箔額(国産
ハンドメイド)、アクリル付き

画寸 天地28.3×左右91cm(30号大)

額寸 天地38.2×左右100.8cm

重量 3.3kg



Photo©RMN-Grand Palais (musée de l'Orangerie) / Michel Urtado / distributed by AMF-DNPartcom

特別価格 100,000円(税込) 希望小売価格 138,240円(税込)

※特別価格は希望小売価格に対する割引後の価格です。

※返品は、商品到着後8日以内、返品送料はご注文者さまご負担をお願いします。

※限定品につき完売となることがございます。予めご了承ください。

※「彩美版®」は共同印刷株式会社の登録商標です。

美術をもっと楽しむための
ウェブマガジン
「美術趣味」のご案内

美術
趣味 BIJUTSU
SHUMI

<http://bijutsu-shumi.com/>

こちらのサイトでは、左記の商品のほかにも多数の商品をご紹介します。是非ご覧ください。

< 切りとり線 >

高級美術複製画 注文書

共同印刷株式会社 行

下記のとおり注文します。

作品名 彩美版® クロード・モネ「睡蓮、水のエチュード―雲」 金額 100,000円(税込)

ふりがな

お名前(会社名)

印

TEL

FAX

※お振込名義がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。

()

納品先ご住所 〒

TEL

※お届け先名がご注文者さまと異なる場合は、以下にご記入ください。

お名前(会社名)

ご注文方法

左の注文書にご記入の上、FAX送信、
または下記住所あてにご郵送ください。

共同印刷株式会社

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12

FAX 03-3817-6702 24時間受付

お支払方法(代金前払い/口座振込のみ)

お申し込み受け付け完了後、当社よりお支払方法をご連絡します。商品をご入金を確認次第発送します。

※振込手数料はご注文者さまでご負担ください。送料・梱包料は、当社にて負担します。(海外発送は別途相談)

本件についてのお問い合わせ

コーポレートコミュニケーション部 株式担当

TEL 03-3817-2071

Email koho@kyodoprinting.co.jp

株式のご案内

決算期 3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要あるときは予め公告する日
公告方法 電子公告
ただし電子公告による公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。
公告およびIR情報などを掲載するWebサイト(URL)
<http://www.kyodoprinting.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各
支店で行っています。

お知らせ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

以上